


家庭教育支援チーム

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	八王子市家庭教育支援チーム (呼称: 星とおひさま ^{フィーカ} Fikaキャラバン) URL: https://moonstarfika.wordpress.com/
②活動拠点	八王子市生涯学習センター(クリエイトホール)、市内小学校等
③活動範囲	八王子市内全域 他
④組織体制	<u>19</u> 人 子育て広場相談員、幼稚園教諭免許保有者、教員免許保有者、養護教諭免許保有者、正看護師、学校コーディネーター、学校運営協議会委員、特別支援教室専門員、学校サポーター、元PTA 連合会役員、元教育委員、特別支援士 監修: 明星大学教育学部教授 保健学博士 星山麻木 監修者 WEB サイト URL: https://hoshiyama-lab.com/
⑤活動開始年度	<u>平成26年度</u>
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 金井 直子 (TEL) 070-7477-4675 (E-mail) fika@hoshiyama-lab.com

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
---------------------	---

<p>②活動対象 (複数チェック可能)</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/>乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/>小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/>小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/>小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/>中学生 <input type="checkbox"/>高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施 </p>
<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>SNSの普及が目覚ましい現代、現実の世界では人の繋がりが希薄となった。多忙な保護者が増加する一方で、保護者の会、町内会、子ども会など地域の繋がりが減退し、子育てを支えることができなくなっている。本チームでは、保護者が地域のなかで孤立することなく、安心して子育てができるよう、保護者同士の仲間づくりのためのワークショップ(Fika キャラバン)の企画及び運営をしている。楽しみながら繋がり、学ぶ場を創りだし支援することを目的としている。</p> <p>ワークショップは、話しやすい雰囲気づくりを第一に、茶話会のスタイルをとり、おしゃべりの中に、子どもの発達理解と支援方法、学校や幼稚園の場で役立つコミュニケーションスキルを高めるプログラムを組み入れる。発達支援の知識と実務経験を持つファシリテーターがグループの会話を進行する。リラックスした雰囲気の中で、保護者が悩みを抵抗なく話せるように導く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="434 1014 794 1305">  </div> <div data-bbox="880 1014 1273 1305">  </div> </div> <p>笑顔あふれるおしゃべり time ワークショップで使用するストーリーカード</p> <p>学校に訪問することで、「先生と仲良くなる」「保護者同士で仲良くなる」きっかけとなるよう心がけている。「子どもの良いところを見つけて褒める」「先生の良いところを見つけて褒める」力がある保護者が多い学校は、温かく、豊かな成長ができる学校となるはずだ。</p> <p>一方で、ファシリテートできる人材育成の必要性も感じ、育成のためのファシリテーター講座も開催している。保護者支援が目的であるので、PTA、学校運営協議会委員、地域学校協働活動支援員など学校支援に関わる人々をターゲットにしたい。ただ、ここで学ぶファシリテーションは、地域のどこでも、人をつなぎ温かい関係づくりに役立つので、市と協働で開催する講座では、広く市民に募集している。</p>

<p>④活動の成果 (活動実績がある 場合)</p>	<p>参加者へのアンケートでは、ほぼ全ての方が参加して良かったと答えてくださり、「心が軽くなった」「先輩保護者からの話が聞くことができ、先の見通しができた」「知り合いが欲しかったので嬉しかった」「小さなことも聴いてくださって助かりました」「不安なことわからないことが話せてよかった」という感想が多数であった。公共の相談機関にかかる前に「ちょっとした悩みを話してみたい」という思いを叶え、共感してもらえた安心感を得て、次の一歩へと踏み出すための支援に繋がっている。</p> <p>新型コロナの感染が広がる中では、実際にお茶を飲みながらの開催は難しくなったが、対面では距離をとり換気をして実施した。オンライン開催も実施している。</p> <p>令和3年度は、主に新1年生の保護者を対象として、6校152名の参加があった。保護者会や学校公開が制限され、コミュニケーションが取りにくい時代だからこそ、なおさら必要とされる活動だと実感している。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業 (事業名: 学校・家庭・地域連携協力推進事業補助金)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()</p>